

ここが、あげる場所。

【目的・今後の取組】

- ・人口減少のペースを抑制させ、小樽に住んでもらう、住み続けてもらうため、小樽市の魅力を訴求する、スローガンを作成

訴求点の検討について。

少子化対策や子育て、家族向けの施策は他市町村と大きく差別化が難しい。

かつ、他市町村よりも好条件にしようとする多額の予算が必要となり消耗戦に陥る。

ポイントを絞った対策が必要。第1段階として、フェーズ1として

商売、しかも大企業ではなく、

個人での起業など小規模なもの（スモールビジネス）をターゲットとした。（テレワークを含む）

- ・スローガンを「ここが、ひと旗あげる場所。」とし、
- ・「ひと旗プロジェクト」として、人口減少対策に取り組む。

【事業の進め方】

- ・次の**3段階**で事業を展開する。

フェーズ1 起業+移住をターゲット（主にスモールビジネスを起こす人）

フェーズ2 既に小樽で商売をしている人にターゲットを拡張

フェーズ3 小樽市全体として「小樽市そのものがひと旗あげる」

- ・「ひと旗プロジェクト」として、次の2つの視点で既存事業を**パッケージ化、拡充**を進める。

視点① 小樽に“**うつり**”ひと旗あげる。 → 起業+移住。

視点② 小樽に“**のこり**”ひと旗あげる。 → 既に小樽で商売をしている人+定住

【事業の内容】

フェーズ0 人口減少対策を効果的に進めるため、庁内組織を設置する。

- ・庁内に「ひと旗プロジェクト」チームを設置し、各職場、職員が有機的につながり、本市の最重要課題として、全庁的に人口減少対策を効果的に進めるとともに職員の意識を変える。
- ・移住ホームページのコンテンツの検討、既存事業をパッケージ化し他市町村のようにわかりやすく情報提供を行う。（スマートフォンから見やすいホームページを作ることを目指す。）

フェーズ1 起業+移住をターゲット（主にスモールビジネスを起す人）を重点的に進めるため、

□ 視点① 小樽に“うつり”ひと旗あげる。

【既存事業】

- ・オンライン移住ツアー [企画政策室]
- ・移住者ミーティング [企画政策室]
- ・テレワークモニターツアー
- ・UIJ ターン補助金/3世代同居近居補助金 [企画政策室]
- ・移住ワンストップ窓口 [企画政策室]
- ・創業支援補助金 [産業振興課]
- ・小樽商人塾 [産業振興課]
- ・創業支援ワンストップ窓口（商工会議所） [産業振興課]
- ・空き店舗対策支援事業（商業労政課）
- ・ワーケーションモニター [産業振興課] など

【新規拡充事業案】 ※検討中

- ・移住ホームページの作成（otaru-iju.com）

フェーズ2 既に小樽で商売をしている人にターゲットの拡張を進めるため、

□ 視点② 小樽に“のこり”ひと旗あげる。

【既存事業】

- ・若年層の地元企業への定着促進
- ・中小企業振興基本条例/中小企業振興会議
- ・地域経済連携懇談会・スクラムミーティング など

【新規拡充事業案】 ※検討中

- ・経済産業局との連携を強化し、経済産業省の中小企業向け補助金の活用

フェーズ3 小樽市全体として「小樽市そのものがひと旗あげる」ため、

- ・「意欲をもって新しい運命を切り開く」事業を行う、事業者や民間組織にキャッチコピーを使用許可する。